

小学校高学年の部



本をクリックして試し読み



りんごの木を植えて

大好きなおじいちゃん。病気と向き合いながら、毎日を豊かに過ごしている。自分らしく生きるおじいちゃんってカッコイイ。

【みどころ】

みずまは小学五年生。大好きな祖父にがんの再発がわかったが、祖父は「積極的な治療」は行わないという。それって、どういうこと？「人間が生きること」そして「死ぬということ」を考える、心あたたまる家族の物語。

大谷美和子 作
白石ゆか 絵
ポプラ社
1,650円

【選定理由】

祖父の病気が進行していく中で、家族がさまざまな思いで見守っていく物語の構成に、読者である子どもたちの想(おもい)がさまざまに絡まっていくことが予想される。



本をクリックして試し読み



この本を
詳しく!



この本を
買う!

風の神送れよ

コロナ退散の祈りもこめて、僕らはコトの神を谷へ送る。子どもたちが無病を願う伝統行事と懸命に向き合う姿を描く成長の物語。

【みどころ】

疫病神を祓い、地区境まで送り出すまでのすべてが子どもたちの手にまかされるコト八日行事。はじめは行事を面倒に感じていた主人公が、行事に関わる人々の思いに触れることで変わっていく様子に注目してください。

熊谷千世子 作
くまおり純 絵
小峰書店
1,650円

【選定理由】

全体的に読みやすく、しっかりと年中行事を伝えてくれている。コロナ禍にある現在、疫病退散の願いを含めた年中行事について知ることや、子どもたちの成長が読み取れる。



本をクリックして試し読み



ぼくの弱虫をなおすには

ぼくとフリータは、夏休みのあいだにこわいものを克服して強くなることにした。ところが...？
がんばる子どもたちの前向きな物語。

【みどころ】

5年生になるのがこわいというゲイブリエルのために、親友のフリータは、強くなるための作戦を思いつく。ところが、二人で取り組むうちに、もっと大きな問題が立ちあがり…。子どもの友情と成長を描く、心にひびく物語。

K・L・ゴーイング 作
久保陽子 訳
早川世詩男 絵
徳間書店
1,760円

【選定理由】

1976年のアメリカ・ジョージア州を舞台に、偏見や人種差別の問題にふれつつ、夏の子どもたちの成長を描いている。外国の物語だが読みやすく、いろいろなイメージを描くことができる。



本をクリックして試し読み



捨てないパン屋の挑戦:しあわせのレシピ

大量のパンの廃棄に悩み、「一個も捨てない」ために奮闘するパン職人の田村さん。食品ロスなき未来への知恵と希望を描く。

【みどころ】

自然に囲まれて育ち、環境保護に命をかける田村さん。親から引き継いだパン屋で、大量の廃棄・食品ロスに悩みます。世界を旅してついに見つけた「一個も捨てない方法」は、みんなが幸せになるレシピでした。

井出留美 著
あかね書房
1,430円

【選定理由】

「食品ロス」を取り上げ、「もったいない」「無駄を減らせ」と主張するのではなく、「本当に必要なものを必要なだけ作ることがエコにつながる」と新たな視点を提示している。